



あきたがわ さおり
芥川 紗織 (1924-1966年)

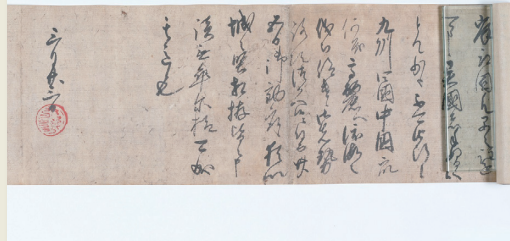
《女C》

1954年 染料・布

髪を振り乱し、怒っているようにも苦しんでいるようにも見える女。ギリギリまで単純化された形と強烈な色彩によるダイナミックな人物表現です。この人物は画家自身なのでしょう。戦後の美術界で女性画家として奮闘する姿を投影しているようです。芥川は本作のような感情をあらわにする「女」シリーズのほか、日本の神話や民話などを独特な染色技法で表現しました。

問 美術館 (☎23-1636)

4/7(日)までの
常設展で紹介!



豊臣秀吉朱印状 (加藤清正宛)

豊臣秀吉が加藤清正に対して、朝鮮へ出兵するよう命じたものです。文禄の役において、中国・四国の大名と同じ内容のものが出されていますが、清正宛のものは見つかっていませんでした。清正は朝鮮での「虎退治」伝説で広く知られていますが、この命令書があつて初めてその伝説が成り立ちます。刈谷藩の家臣の家から偶然発見されたもので、4月2日から21日まで、歴史博物館の企画展「初代刈谷藩主 水野勝成展」で見られます。



かりやの風景 197

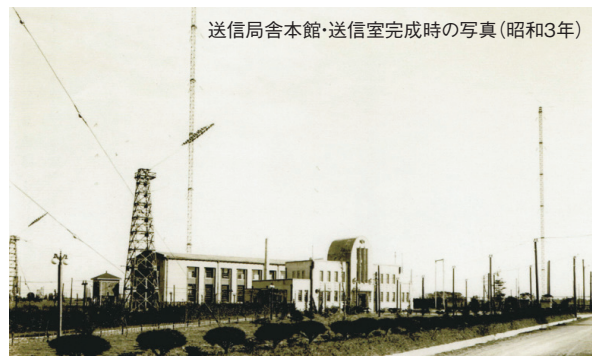
依佐美送信所記念館(高須町)

昭和4年に建設された依佐美送信所は、当時としては世界最大級の無線送信施設であり、日本の国際通信施設として重要な役割を果たしました。第2次世界大戦後の在日米国海軍による接收、日本への返還を経て、平成18年に解体されました。

依佐美送信所記念館は、送信装置などを保存し、産業遺産として後世に伝えていくため、平成19年に建設されました。

依佐美送信所の竣工90周年を記念し、その歴史を写真と展示物で振り返る展示会を、依佐美送信所記念館2階にて5月19日(日)まで開催しています。この機会にぜひご来館ください。

問 歴史博物館 (☎63-6100)



送信局舎本館・送信室完成時の写真(昭和3年)

